

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/02/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587051901	科目番号 / Course code	05870519
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15371_005		
授業科目名 / Course title	a12映画から学ぶライフサイクルとメンタルヘルス / What Movies Can Teach Us about Life Cycle and Mental Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小澤 寛樹 / Ozawa Hiroki, 松坂 雄亮 / Matsuzaka Yusuke, 森本 芳郎		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小澤 寛樹 / Ozawa Hiroki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小澤 寛樹 / Ozawa Hiroki, 松坂 雄亮 / Matsuzaka Yusuke, 森本 芳郎		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ozawa07 nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	医学部 精神神経科		
担当教員TEL / Tel	095-819-7293		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月水木12-13時		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	自分を取り巻くライフサイクルとメンタルヘルスの実状をまずきちんと把握し、受講者がこれからの経済活動や現代の市民としての生活などで役に立つ知識を習得してもらうことを目標としたい。毎回のテーマは生活の中で起きうる具体的な問題であり、心理学・精神医学(必要であれば、人文科学・社会科学の知識)を通して、自分で的確に把握できるようになる。そして得られた知識を、まだ知らない人に対しても正しくプレゼンテーション可能なようになることを通じて、社会に貢献できる"新しい人"(大江健三郎)になるためのメンタル・リテラシーを身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	講義後に提出するレポート : 50% 講義中のディスカッションへの参加態度 (意欲点) : 50%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	該当の映画をネットなどを使って調べる(2h) 講義内容及び講義資料をもとにレポートを提出すること(2h)		
キーワード / Keywords	精神医学、精神疾患、メンタルヘルス、アンチスティグマ		
教科書・教材・参考書 / Materials	「シネマサイキアトリー映画からみる精神医学」(小澤寛樹監訳、中外医学社) 「標準精神医学・第5版」(野村総一郎他編、医学書院)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	本シラバスは今後変更される可能性があるため、受講予定者は履修登録時に再度本シラバスの内容を確認し、受講の有無を決定すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	自分に関係ないと思いがちな心の病気……。実は誰にでもなりうる可能性がある、身近なものなのです。この授業では、そんな心の病気に触れた映画を視聴し、メンタルヘルスについて学んでいきます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	小澤 寛樹/精神神経科において医師としての実務経験を有している/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 松坂 雄亮/精神神経科において医師としての実務経験を有している/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 木下 裕久/精神神経科において医師としての実務経験を有している/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 森本 芳郎/精神科医としての勤務経験/実務経験に基づき、精神疾患に関する病態について本授業科目に必要な基本的知識を講義する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	身近な人がうつになった時の対処法 (作品：ツレがうつになりまして)
第2回	身近な人がうつになった時の対処法 (作品：ツレがうつになりまして)
第3回	アルコール乱用 (作品：シェルブールの雨傘)
第4回	アルコール乱用 (作品：シェルブールの雨傘)
第5回	高次脳機能障害の一例 (作品：メメント)
第6回	高次脳機能障害の一例 (作品：メメント)
第7回	統合失調症の実態 (作品：ビューティフルマインド)
第8回	統合失調症の実態 (作品：ビューティフルマインド)
第9回	アップダウンの激しい人たち～双極性障害の話～ (作品：心のままに)
第10回	アップダウンの激しい人たち～双極性障害の話～ (作品：心のままに)
第11回	認知症の基礎知識 (作品：折梅)
第12回	認知症の基礎知識 (作品：折梅)
第13回	人生の終末期を迎える人の心について (作品：余命1ヶ月の花嫁)
第14回	人生の終末期を迎える人の心について (作品：余命1ヶ月の花嫁)
第15回	まとめ

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/20		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587061101	科目番号 / Course code	05870611
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15561_005		
授業科目名 / Course title	a12発達症(発達障害)の理解と支援 / Understanding and Support for Neurodevelopmental Disorders		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	今村 明 / Imamura Akira, 岩永 竜一郎 / Iwanaga Riyoutirou, 小澤 寛樹 / Ozawa Hiroki, 金替 伸治 / Kanegae Shinji		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	今村 明 / Imamura Akira		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	今村 明 / Imamura Akira, 岩永 竜一郎 / Iwanaga Riyoutirou, 金替 伸治 / Kanegae Shinji		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	aimamura_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	長崎大学病院12階 地域連携児童思春期精神医学診療部(精神神経学)		
担当教員TEL / Tel	095-819-7292		
担当教員オフィスアワー / Office hours	12:00-13:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	発達症(発達障害)の特性を理解することで、発達症を神経多様性の一つとして考え、適切な支援とはどのようなものかを検討する。		
授業到達目標 / Course goals	自閉スペクトラム症や注意欠如・多動症などの発達症(発達障害)は脳神経系の発達のかたよりにより生じるものと考えられ、最近では小学生の10人にひとりには発達症の特性を持つものと推測されている。同様の発達症の傾向を持つ児・者も、周囲がその傾向を理解し適切な対応を行うことで、社会的適応の度合いは大きく変化する。映像資料を用いて、自分自身の傾向も含めて発達症について学び、理解を深めることを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	論文の理解度50%、英文論文の作成50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	該当範囲について自主学習しておくこと(2h) 講義内容及び講義資料をもとに復讐すること(2h)		
キーワード / Keywords	神経発達症 neurodevelopmental disorders 自閉スペクトラム症 autism spectrum disorder 注意欠如・多動症 attention-deficit/hyperactivity disorder 限局性学習症 specific learning disorder 発達性協調運動症 developmental coordination disorder 愛着 attachment 心的外傷後ストレス posttraumatic stress		
教科書・教材・参考書 / Materials	精神障害の診断と統計マニュアル第5版 米国精神医学会		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	なし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	どのような職種やグループの中にも、発達症の人は含まれます。あなた自身にもその傾向があるかもしれません。発達症について学ぶことは、脳の多様性を通して、自分や周りの人の特性を知ることにより、自己肯定感や他者への共感性の向上につながるものと考えます。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	今村 明/精神神経科において医師としての実務経験を有している/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 金替 伸治/精神神経科において医師としての実務経験を有している/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(10/2)	オリエンテーション
第2回(10/2)	発達症の子どもの支援
第3回(10/9)	発達症の子どもの支援
第4回(10/9)	発達症の子どもの支援
第5回(10/16)	発達症の子どもの支援
第6回(10/16)	発達症の学生支援
第7回(10/23)	発達症の学生支援
第8回(10/23)	発達症の就労支援
第9回(10/30)	発達症の就労支援
第10回(10/30)	社会の中での発達症
第11回(11/6)	社会の中での発達症
第12回(11/6)	発達症の困難さと強み
第13回(11/13)	発達症の困難さと強み
第14回(11/13)	発達症の医学的支援
第15回(11/20)	発達症の医学的支援

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/19		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587061301	科目番号 / Course code	05870613
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15571_005		
授業科目名 / Course title	a12ヒトはなぜ病気になるのかCOC / Etiology of Human Disease		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	川上 純 / Atushi Kawakami, 吉浦 孝一郎 / Yoshiura Kouitirou, 小澤 寛樹 / Ozawa Hiroki, 佐藤 克也 / Satou Katuya, 川尻 真也 / Kawashiri Shinya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	川上 純 / Atushi Kawakami		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	川上 純 / Atushi Kawakami, 吉浦 孝一郎 / Yoshiura Kouitirou, 佐藤 克也 / Satou Katuya, 川尻 真也 / Kawashiri Shinya		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	atsushik nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	先進予防医学共同専攻		
担当教員TEL/Tel	095-819-7260 (教授室) 095-819-7262 (医局受付)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	18:00 ~ 19:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ヒトはなぜ病気になるのだろうか? 病気になるリスクを予測して、病気を予防することはできるのだろうか? 急速に進む高齢化社会の中で、私たちはどのように病気と向き合えば良いのだろうか? 説明が進む病気の研究内容を紹介しながら、それを日常生活に取り組み工夫も本モジュール科目では解説する。		
授業到達目標/Course goals	ヒトの病気の発症機序と予防法の概略を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み (30点) + レポート課題 (70点) で60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業で扱った内容や用語について復習すること (2h) 予習は特に必要ありませんが、授業に関する問題を取り上げるニュースや新聞記事などに目を通しておくこと (2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	川上 純/リウマチ・膠原病内科において専門医としての実務経験を有している。/実務経験に基づき 、本授業科目に必要な基本的知識を講義する。/ 吉浦 孝一郎/遺伝医療の実践経験/遺伝医療実践に向けて必要な基礎知識,応用,検査,実験まで講義 する。/ 佐藤 克也/内科臨床医として勤務経験/実務経験に基づき、各種感染症について必要な基本的知識を 講義する。/ 川尻 真也/医師としての実務経験を有している。/各職種での実務経験に基づき、本授業科目に必要 な基本的知識,技能を講義,実習等により教授する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第2回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第3回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第4回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第5回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第6回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第7回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第8回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第9回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第10回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第11回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第12回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第13回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第14回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第15回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)